

# 『eco検定アワード2018』 受賞者紹介

## ◇エコユニット部門◇

### 《大 賞》

会社名 (所在地)	株式会社ノーリツ	兵庫県明石市	エコユニ ット名	株式会社ノーリツ
事業概要	住宅設備機器製造・販売			
活動の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆節電プロジェクトの立ち上げ。社内のエコピープルで「eco 検わかし隊」を結成。環境意識を持った社員が活動することでエネルギー使用量を大幅に削減した。</li> <li>◆琵琶湖外来魚駆除釣りボランティアに社員を動員。イベント当日には環境紙芝居を作成し、環境問題について分かりやすく伝え教育する場を設けた。</li> <li>◆獣害啓蒙活動。COCO 吉番屋とコラボし、鹿肉カレーを提供することで、食物連鎖について体感しながら学ぶ場を提供した。</li> <li>◆eco 検定の普及活動として、社内講師による勉強会(20 回)やメール配信による学習指導を行った。この活動が実を結び 2017 年度は、283 名の社員が合格。2008 年度以降の合格者数は、延べ 1,981 名(社内取得率 58.7%)となった。活動は社内にとどまらず、大学生や他社を対象にセミナーや出前授業も開催している。</li> </ul>			

### 《優秀賞》

会社名 (所在地)	高崎経済大学 地域政策学部	群馬県高崎市	エコユニ ット名	SATOYAMA 環境システム 研究室
事業概要	大学・大学院			
活動の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆群馬県藤岡市の企業が管理する「チノービオトープフォレスト」を活用したネイチャーゲームの開発に着手。学生エコピープル 24 名のグループワークにより、五感を使った探検ミッションなど、4 つのプログラムを開発。</li> <li>◆2010 年より実施している、体験型環境学習プログラム『地域の河川を調べよう！～探そう！いきもの！学ぼう！身近な生物多様性！～』は、高崎市内 5 校・藤岡市内 2 校の小学校を対象に実施。2017 年度は「親子参加」による学習会も行い 15 組が参加した。</li> <li>◆毎年、学生が eco 検定を高得点で合格することを目標に、合格講座を実施。2017 年度も学生全員が合格。これまでも、85 名(7 期生まで全員)が合格している。また、「eco-MASTER GRAND PRIX 2017」では、学生部門の第 1 位と第 3 位を獲得した。</li> </ul>			

	ブランシエス株式会社	大阪府吹田市	エコユニ ット名	ブランシエス株式会社
事業概要	ベビー、子ども、婦人衣料の企画販売			
活動の ポイント	<p>◆2010年より継続的に活動している、沖縄の「サンゴ礁再生活動」。活動内で販売している寄付金付きハンドタオルは、デザインを小学生以下の「ちびっこデザイナー」より募集。大賞を獲った2名の作品を商品化した。2017年7月より店舗とオンラインにて販売を開始し、2018年4月現在の総売上枚数は、14,036枚、寄付額は525,000円となっている。また、タオルの寄付金で植えられたサンゴの総数は、178株となった。</p> <p>◆「親子で特別ランチ&amp;エコバッグ作り」ワークショップを企画・実施。石巻の地産地消をモットーにしたイタリアンレストランにて、被災地支援の思いも込めて、初めて“食”とのコラボ企画を実現した。</p> <p>◆「届けよう！東北のこどもたちにクリスマスオーナメント」ワークショップの実施。洋服のハギレを使ったオーナメント作りを全国11店舗で実施。集まった300個のオーナメントを岩手県大槌町で行われるクリスマス会へ贈呈した。</p>			

## 《 奨励賞 》

会社名 (所在地)	岐阜大学	岐阜県岐阜市	エコユニ ット名	岐阜大学 施設環境部
事業概要	教育機関			
活動の ポイント	<p>◆2009年に、環境に配慮し、地域社会に貢献し続ける大学として「環境ユニバーシティ」を宣言。環境マネジメントシステムを構築・運用。 2013年度～環境講義「環境マネジメントと環境経営」を開講(2017年度総受講者109名) 2017年度～「環境及び組織の社会的責任に関する集中講義」を開講(受講者18名)</p> <p>◆学生内部環境監査員の養成と参書画。ISO14001の概要や環境マネジメントシステムの運用をチェックする内部環境監査の手法を専門的に学び、実践することで、環境についての理解を深め、環境配慮の有効手段・無駄を発見するスキルの向上、CSR(企業の社会的責任)、USR(大学の社会的責任)に寄与できる人材の育成を目指している。</p> <p>◆毎年、春と秋に「クリーンキャンパス」を実施。ゴミ拾いや、構内の池に生息する在来種の保全、構内河川の特定外来生物の駆除を行っている。</p>			

会社名 (所在地)	山陽製紙株式会社	大阪府泉南市	エコユニ ット名	チーム山陽!
事業概要	クレープ紙製造・販売(紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス)			
活動の ポイント	<p>◆工場横を流れる「男里川」の清掃を、12年間継続で実施している。有志で始めた活動も、今では、全社員だけでなく地域のボランティアや企業の参加も増え、地域の活性化に繋がっている。</p> <p>◆エコアクション 21 に 2016 年より参加。 3S による「整理・整頓・清掃」活動を行い、工場見学希望の全面的受け入れ(海外からの希望含む)を行っている。 使用電力の再生可能エネルギーへの切り替え(2017年7月) 活性炭ろ過方式排水処理設備の導入(2018年1月)</p> <p>◆経営理念「私たちは紙創りを通して環境に配慮した循環型社会に貢献します」の具現化のため、全社員がエコピープルであるエコユニットを目指し、10年間継続している。現在の社内合格率は、75%となっている。</p>			

会社名 (所在地)	清和総合建物株式会社	東京都港区	エコユニ ット名	清和総合建物グループ
事業概要	不動産賃貸業(オフィス、マンション等)			
活動の ポイント	<p>◆社会貢献活動の一環として、東京都「企業の森」事業の「花粉の少ない森づくり運動」に継続的に参画。(公財)東京都農林水産振興財団指導のもと御岳で下狩り作業の実施(参加人数 61 名)。</p> <p>◆都立日比谷公園の花壇 150 坪へのチューリップの球根の値付けの実施(参加人数 83 名)。</p> <p>◆毎年、eco 検定の申込開始時期に、役職者全員に受験勧奨の告知を実施。合格者に対しては、能力開発奨励金を支給。これまでの合格者は、総計で 115 名となっている。</p>			

◇エコピープル部門◇

(敬称略)

《大 賞》

氏名 (住所)	吉野 榮一	東京都品川区	年齢	64
所属	東洋ガラス株式会社			
活動の ポイント	<p>◆様々な主体と連携し、小学生を対象とした環境出前授業を数多く実施。この活動が評価され、文部科学省・青少年の体験活動推進企業表彰「審査委員会奨励賞」を受賞。また、(公財)日本環境協会こども環境相談員やこどもエコクラブの壁新聞道場！師範としても活動の場を広げている。</p> <p>◆エコアクション 21 審査人として、中小企業の環境マネジメントシステムの指導を行う。</p> <p>◆これまで社内の営業・事務部門にて eco 検定の普及を率先して推進してきたが、2017 年度より、他部門・関連会社(出向者)への展開も始める。社内のエコピープルは、現在 144 名(社員数 875 名)となり、2017 年度は、eco 検定アワード 2017 優秀賞と「eco-MASTER GRAND PRIX 2017」では総合第 3 位を獲得した。eco 検 SEEKER 2017 に認定された。</p>			

《優秀賞》

氏名 (住所)	小林 由紀子	岐阜県岐阜市	年齢	62
所属	特定非営利活動法人 e-plus 生涯学習研究所			
活動の ポイント	<p>◆IPCC コミュニケーター研修受講後、100 回を超える講座開催の活動実績が認められ、全国で 2 番目の環境省「地球温暖化防止トップコミュニケーター」に認定された。</p> <p>◆小中学校での水環境学習を、効率的・体系的に学ぶプログラムを提供し、1 年間の環境学習のストーリーを提示しながら、研修や遠足を活用したスケジュールの作成、他の教科との関連も考慮したプログラムのアドバイスをしている。</p> <p>その他、「水環境の体系化」の教材開発や川に入れない子ども達のための教材を作成し、楽しく学び実践する気持ちを育てる授業を行っている。</p> <p>◆美濃加茂市の環境課からの要請により、「フードロス」をテーマに 3 回のシリーズで講座を企画し、1 回目と 3 回目の講師を担当。また、岐阜市科学館の「大人のための科学講座」では、わかりやすく科学的なアプローチで環境問題について話した。</p> <p>◆環境学習に関する体系的な知識と最新の情報取得のため、eco 検定を再受験し、eco 検 SEEKER 2017 に認定された。年間 20 回ほど担当する市民対象の人材育成や実践発表の講座等で最初に取り組む資格として、eco 検定を紹介している。</p>			

氏名 (住所)	渋谷 誠	東京都練馬区	年齢	53
所属	練馬区生涯学習団体			
活動の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境映画の上映会の映画の選定から会場の確保やチラシの作成・配布まで全て行い、環境活動に努めた(計 11 回)。</li> <li>◆練馬区内で環境活動をしている 2 団体、「石神井公園自然と野鳥の会」、「白子川源流・水辺の会」の活動に参加する形でエコピープル自然観察会を計 5 回開催した。</li> <li>◆キッズ eco スクールとして、環境映画の上映会と子供 eco 検定教科書で自習の後にテストを実施し、合格者に合格証を授与した。今回初めの取り組みで、計 8 回開催したが、子どもたちの集まりが芳しくないため、今後は練馬区教育委員会の委託講座として再出発を予定している。</li> <li>◆エコピープルを増やすための PR 活動(eco 検定普及活動)として、計 12 回の勉強会を実施し、7 名のエコピープルを誕生させた。</li> </ul>			

氏名 (住所)	林 昌明	東京都中野区	年齢	39
所属	前田建設工業株式会社			
活動の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今までの環境活動、エコピープルとの出会いや繋がりを活用した、二世帯住宅を建設。住宅性能評価 省エネ等級 4 取得した。</li> <li>◆勤務地の千代田区の環境活動を行うために設立した、「グリーンネイバーフッド千代田目指す会」にて、小学校でのエコかるたづくりとエコかるた大会の実施や、大学と協同しグリーンマップづくりを開催した。</li> <li>◆勤務先にて、建物の環境性能認証 LEED を取得予定。それに伴い、取引先の建材メーカーに LCA 評価の実施を依頼。ラベルⅢタイプの EPD 認証取得した建材メーカーを優先的に採用している。</li> <li>◆省エネ法や、環境アセスメント、土壌汚染対策法など多岐にわたるテーマを取り上げた勉強会を、2~3 か月に 1 回のペースで開催している。</li> </ul>			

## 《 奨励賞 》

氏名 (住所)	上野山 友之	和歌山県有田郡	年齢	26
所属	和歌山県有田川町役場			
活動の ポイント	<p>◆「有田川というエコのまち」ブランド化推進事業として、「有田川エコプロジェクト」をさらに活性化させるため、各種環境行政を対象とした表彰事業への応募や情報発信の提案を行った。その結果、第16回わかやま環境賞「わかやま環境大賞」、第5回プラチナ大賞「審査委員特別賞」を受賞した。</p> <p>◆産学官民連携、地域が一体となったエコのまちづくり推進事業として、行政と住民、さらに民間事業者と連携したエコなまちづくり事業に13社から協賛を得て、有田川エコバックを作製した。</p> <p>また、子どもたちへの環境絵本導入の提案に官民連携で取り組んだほか、官民に学を加えたイベント「有田川エコフェスタ Vol.2」を行なった。</p> <p>◆地域水力発電の歴史掘り起こし事業として、明治から昭和初期まで有田川流域に多く存在していた水力発電所を作り上げた先人たちの歴史と現在稼働している水力発電所のPRを兼ねた「有田川の水と暮らしのパンフレット」を作製した。</p> <p>◆エコピープルを増やすためのPR活動として名刺にエコピープルロゴをプリントし、名刺交換を通してeco検定のPRに努めた。</p>			

氏名 (住所)	藤本 雅彦	兵庫県加古川市役場	年齢	45
所属	兵庫県加古川市役所			
活動の ポイント	<p>◆地産地消・旬産旬消・ウォームシェア・健康・笑いで地域を活性化すべく、地元の「味噌」と「酒粕」を使用したご当地鍋「恵幸川鍋(エコがわなべ)」を開発。市内で開催される各種イベントへの出展や、毎年11月第一日曜日を鍋開きの日とし「恵幸川祭り」を開催するなど、幅広い普及活動を行う。2017年には、加古川ご当地三大グルメに認定される。さらなる活性化を目指し、麺類やスイーツなどの新メニューの開発も行っており、現在取扱店は、市内13店舗に及ぶ。</p>			